

11月1日現在受講者数 基盤プラン 45名 才能育成プラン 15名



http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/iP-U/

## 才能育成プラン受講生 活動の成果(10・11月)

# 令和4年度 GSC全国受講生研究発表会

# 科学技術振興機構理事長賞 大岡千帆さん 宇都宮女子高校 2年 発表タイトル

#### 「凝集誘起発光を目指した新規蛍光色素の合成」

GSC全国受講生研究発表会は、GSC事業を実施する大学及び機関の受講生が、研究活動の研鑽の場として日頃の研究成果を発表し交流し合うものです。第9回目の今年は、一次審査がzoomを使って10/16に、最終審査は東京の会場で11/6に行われました。次世代の科学者に求められる科学的探究能力の獲得度合いや、

次世代の科学者に求められる科学的探究能力の獲得度合いや、研究の専門的達成水準のほか、研究の意義や貢献を適切にアピールできたかなどについて審査が行われ、上記の賞のほかに文部科学大臣賞、審査員特別賞、優秀賞が決定しました。

また、iP-Uからは、優れた3つの研究成果を一次審査にて発表しました。

# iP-U受講生が1次審査で発表した研究 ■対サロ ウミナ学附屋只刊京 2年 ▲各賞の受賞者はこちら

黒杭功祐 白鷗大学附属足利高2年 「アリジゴクの蛹化要因と臨界サイズの特定」 先川杏樹 伊奈学園総合高2年 「国産山わさびに感染している

カウリモウイルスの検出と遺伝子解析」

結城真優香 宇都宮東高 2年

「アルカリフォスファターゼ阻害剤の探求」

#### 第66回 日本学生科学賞栃木県審査

#### 最優秀賞-県議会議長賞-

黒杭功祐さん 白鷗大学足利高 2年 研究タイトル

#### 「アリジゴクの蛹化要因と臨界サイズの特定」

日本学生科学賞は、1957年にスタートした中学生、高校生を対とした歴史と伝統のある日本最高峰の科学コンクールです。まずは、都道府県ごとに審査が行われます。栃木県では9/22に審査が行われ中学生、高校生それぞれから3名の最優秀賞が選ばれました。(10/21の読売新聞に掲載)現在、選ばれた最優秀賞作品は中央審査(全国)に進んでいます。

### 2022 磁気力制御・磁場応用夏の学校

#### 審查員特別當

鷲足祐香さん 宇都宮短期大学附属高1年 研究タイトル

「磁気分離を利用した生物学的水処理における

安定性の検証」

#### 10月のiP-U講座

明珠口 松光列口 巫珠老紫 珠体	
開講日   授業科目 受講者数 講師	
10/1出 光るクラゲの光るワケ(24名)	
大庭 亨教授 工学部基盤工学科物質環境化学	:コース
作物の根を見てみよう(6名) 10/1出	
神山 拓也助教 農学部生物資源	科学科
10/2旧 《必修科目》EC-Lab 5回目・6回目(延べ60名)	
Keith Rodger先生, Nebiyu Bachore先生,Michael War 10/22仕) Ben Jansson先生,Joel Neft先生 [基盤教育センター(ヒア	
10/2円 レーザーと医療(5名)	
〒0/2四 東口 武史教授 工学部基盤工学科情報電子オプティクス	.コーフ
デザインカ実践Ⅲ(26名)	
10/8仕 大庭 亨教授 工学部基盤工学科物質環境化学 松田 勝教授 バイオサイエンス教育研究セ 出口 明子准教授 共同教育学部自然科学	ンター
10/9(日) 《連続講座》海洋プランクトン化石から	
・10(月) ・15(土) 過去の環境と進化を探る I ~IV(延べ20台	돌)
・16(日) 相田 吉昭 宇都宮大学名	誉教技
天文学研究の最先端(20名)	
菊田 智史氏 筑波大学計算科学研究セン	ター
10/10側 空中ディスプレイの製作(12名)	
山本 裕紹教授 工学部基盤工学科情報電子オプティクス	.コーフ
10/15世 感性工学入門(8名)	
石川 智治教授 工学部基盤工学科情報電子オプティクス	.コーフ
《連続講座》放射線を測定しよう(6名) 10/22出 エサ まわかれ エペロサやエペシャの短い	
岩井 秀和助教 工学部基盤工学科物質環境化学 夏目 ゆうの助教 共同教育学部自然科学	
10/23個 【必修科目】 イノベーティブデザイン入門 (23名)	
橋本 優子 氏 宇都宮美術館専門	学芸員
10/29生 ガラス細工体験講座 (4名)	
長谷川 和壽 技術専門職員 機器分析セ	ンター
10/30回 花の形を制御する遺伝子について (16名)	
黒倉 健 講師 農学部生物資源	科学科
学生フォーミュラから学ぶ工学倫理と自動車工学(2名)	
10/30(I) 加藤 直人 助教 大学院地域創生科学研究 工農総合科学専攻機械知能工学プロ 原 紳 助教 工学部附属ものづくり創成工学セ 月川 淳 技術班長 工学部技術部情報	グラ <i>[</i> !ンター
オンデマンド 《 化学シリーズ 》 医療に貢献する化学1	
11/30まで配信 大庭 亨教授 工学部基盤工学科物質環境化学	:コーフ

2002年からスタートした「磁気力制御・磁場応用夏の学校」は、箱根、筑波、大阪、宇都宮、新潟、神戸、宇都宮、福井と会場を移しながら毎年開催されています。電気工学、超伝導工学、磁気科学、応用化学、環境科学、工学と様々な分野の学生・社会人が集い、活発な討論を行うことがこの夏の学校の大きな特徴となっています。